



「いずみ後援会はもう、いない。」

—— そうなればいいと願いながら、私たちは活動しています。

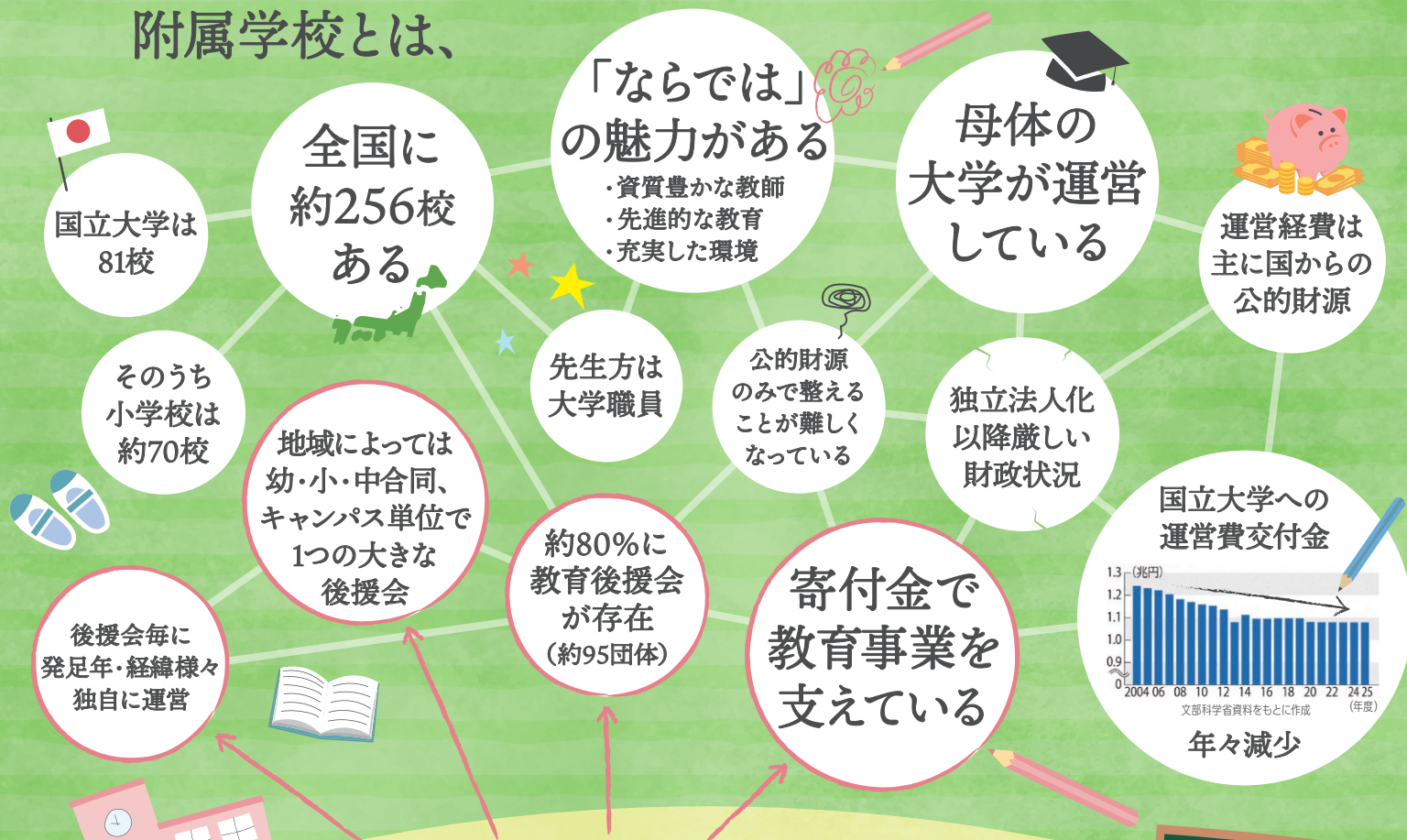
私たちは、
宮城教育大学附属小学校の
教育後援会です。



2000年に発足。
国や大学からの要請に応じ、
同窓生や関係者で結成。

独立した「善意の第三者」
ボランティア団体です。

宮教教育大学附属小学校は「国立大学の附属学校」です。
附属学校とは、



寄付を募っているのは大学（附属学校）であり、教育後援会は、寄付金あつめのための広報活動・窓口・システム等をボランティアで提供している団体です。

私たち いずみ後援会 スタッフは、同窓生や卒業した児童の保護者がメインです。

我が子が附属小に在籍していない者がほとんどのなか、完全ボランティアで活動を行っています。自身や子供たちの母校である大好きな附属小。その魅力を、学校外の独立した視点から発信し、「附属小を応援したい」と心から思う気持ちが、ご寄付へとつながるようにしたいと考えています。

附属小の魅力を発信

「附属小ならではの」最大の魅力、それは、情熱あふれる資質豊かな先生方。

先生方が日々探求している「より良い教育」、その取り組みや、叶えるために必要な事柄を共有し、伝えていきます。

「教える情熱こそ子供たちの豊かな成長につながる」
いずみ後援会の理念です。

公式ウェブサイト
トピックスで
発信しています→



ハビキュンLINE スタンプ販売中
←子供たちにも親しみをもってもらえるよう公式マスコットを展開しています。



現場の声を汲み、必要なタイミングで支援する。
学校を直接支えることができる仕組みです。

ご寄付は100%※、附属小学校のために使用されます。

※振込み・送金等の手数料を除く

迅速に
ダイレクトに
支援する

手軽な寄付方法と税制優遇をご用意

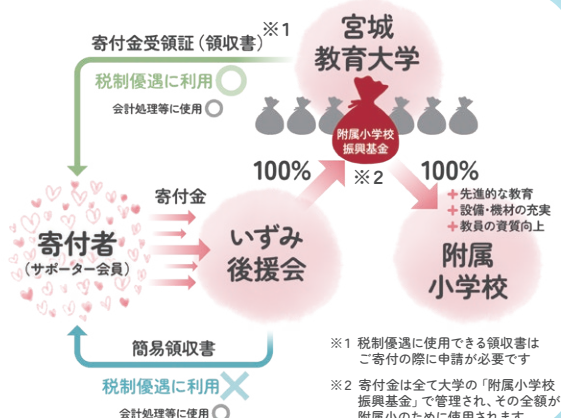
オンラインカード決済に対応。
税制優遇に使用できる領収書を発行します。

ご寄付の方法は
こちらから→



銀行振込にも対応。
ふるさと納税同様の節税対策！
現金でのお申込みは、学校窓口担当の教頭先生までお問合せください。

法人様のご寄付は、経理上の「全額損金算入」が可能です。
個人（個人事業主）様では「控除」にご使用いただけます。



ご寄付いただいた方からの声、先生からの声。

法人様
ご寄付

「未来の子供たちのために、今できること」
東北共済商事株式会社 早坂 謙一郎 様

我が子だけでなく、学校全体を支える一助とは。そう考えていた時、法人寄付という形で学校運営に参加できることを知りました。約720人の子供たち、そして先生方を直接支える仕組みは、ほかの公立学校ではないことであり、そこに加わることができたことを大変嬉しく思っています。

いずみ後援会を通しての寄付は「全額損金算入」できるよう整っており、法人経営者にとっても非常にメリットのある形でした。なにより、善意の寄付はとても清々しいもので、不思議と運気までもが上がるような気がして。これは金額の多寡に関わらず一律に感じるのだらうと思っています。これからも、できる限り子供たちを支えていきたいと考えています。

いつも
ありがとう

「年度内のスピード新調に驚きと感謝」 附属小 上杉 泰貴 先生

新しいスクリーンを早速活用させていただいています。年度初めの希望がこれほど早く、年度内に実現するとは思ってもおらず、そのスピード感に驚きと深い感動を覚えています。

実は、以前のスクリーンは約20年使い続けてきたものでした。黒い縁取りのある古い仕様で、黄ばみや汚れが激しく、どんなに鮮明な映像を用意しても「ぼんやりして見えにくい」状態となり、公開研究会など大勢が集まる際には、後方までちゃんと見えているか不安を抱えながらの使用でした。しかし、限られた予算の中では新調の優先順位を上げられず、やむを得ずそのままになっておりました。

新しいスクリーンは、サイズが大きくなり、映像は驚くほどクリアです。体育館の後方からでもはっきりと視認でき、今後は集会やPTA行事等でも自信を持って活用できます。子供たちの学びを深める貴重な備品として大切にに使わせていただきます。あらためまして、ご支援いただいた皆さまに、心より深く感謝申し上げます。



2025年度のご寄付で
体育館の大型スクリーン
新調を実現できました